

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
越生町	越生町	令和 3 年～令和 7 年	令和 3 年～令和 7 年

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 / 目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 2 年度)	目 標 (令和 7 年度) A	実 績 (令和 7 年度) B	実績 / 目標
総人口	12,280	9,862	10,457	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	5,141	4,649	— %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	42. 2%	52. 3%	44. 5%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	1,145	1,044	— %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	10. 2%	11. 7%	10. 0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	3,332	3,540	— %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	29. 5%	36. 0%	27. 6%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	2,041	0	1,877

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

生活排水処理基本計画の人口予測に基づき各処理人口の数値を算出しているが、当該地域の人口減少が影響し、目標を下回ったと考えられる。

しかしながら今回の目標が達成できなかった理由としては、人口減少が著しいことや、高齢者世帯が多く経済的余裕がないこと、後継者がいないため転換を考えていないなど、様々な要因が考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和12年度まで

- ・計画策定について、将来人口の推移、処理区域の状況を考慮した目標設定を行い、未処理人口の早期解消を目指す。
- ・汲み取りまたは単独処理浄化槽使用世帯に対し、積極的に合併処理浄化槽に転換してもらえよう、個別に案内の通知を送るなど、より一層の転換を促す。また、当町広報誌や町ホームページへの掲載なども引き続きおこなっていく。

(都道府県知事の所見)

埼玉県生活排水処理施設整備構想の実現に向け、上記方策により合併処理浄化槽への転換を促進し、未処理人口の解消をさらに促進していただきたい。